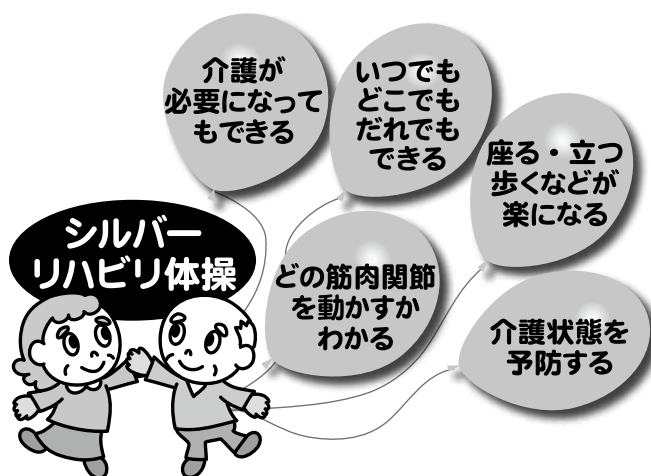


これからの介護予防事業

—シルバーリハビリ体操を实践します—

市は、いくつになっても地域で役割を持ち、生活できる“まち”の実現を目指し、市民参画の介護予防事業『シルバーリハビリ体操』を地域で実践していきます。

この事業では、これまでの人生のなかで豊富な経験を培った市民の皆さんに、大切な役割を担っていただきたいと考えています。平成29年度末までに、シルバーリハビリ体操を地域の高齢者に指導するボランティアを160人養成する計画です。



※講習会受講の申し込みについては、広報しようばら7月号でお知らせします。

シルバーリハビリ体操とは…介護予防の第一人者である大田仁史医師がリハビリテーション・障害学に基づいて考案した体操です。関節の運動範囲を維持・拡大し、筋肉を伸ばすことにより、立つ・座る・歩くなどの日常生活動作を楽にすることができます。

問い合わせ

高齢者福祉課 高齢者福祉係
☎0824・73・1165

◎今後の予定

■「シルバーリハビリ体操指導士」養成講習会

- ・第1期 10月～11月
 - ・第2期 1月～2月
- ※各期とも定員20人。受講料はいりません。

■受講要件

- ・庄原市民で常勤の職に就いていない、概ね60歳以上の方
- ・1回5時間の講習を計8日間、休まず受講することが可能な方
- ・修了後、積極的に地域の集いに出向いて活動できる方

ふるさと応援寄附金に

9,058万円

(制度開始からの寄附金累計額)

庄原市ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)制度は、「ふるさとを応援したい」として自治体に寄附した場合に、2千円を超える部分について所得税や住民税の控除が受けられる制度です。この制度によるこれまでの庄原市への寄附金の状況は、次のとおりです。皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。

本年度から市ホームページで手軽に寄附金の申し込みができる「電子申請」と、休日や夜間でも寄附金の入金ができる「コンビニ収納」を開始しました。また、寄附者にお送りしている記念品に「比婆牛のステーキ」を新たに加え、記念品の充実を図りました。

皆さんの親戚や友人、知人へ、庄原市ふるさと応援寄附金をぜひご紹介いただき、「げんき」と「やすらぎ」のまちづくりにご協力をお願いします。

※ふるさと応援寄附金の詳しい内容は、市ホームページ(<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/>)をご覧ください。

寄附をいただいた方には次の記念品をお送りします

- ▶5千円以上の寄附 …広報紙と市議会だより(1年間)
- ▶3万円以上の寄附 …広報紙などとAコース(「庄原市特産品セット」、「市史・町史誌」、「庄原産木材で制作した木の器」、「比婆牛ロースステーキ」)の中からいずれか
- ▶10万円以上の寄附 …広報紙などとAコースから2つまたは、Bコース「比婆牛サーロインステーキ」のいずれか

本年度から追加した記念品
「比婆牛サーロインステーキ」



●平成20年7月～平成27年3月までの寄附状況

指定事業の区分	寄附件数	寄附金額(円)
(1)自治および協働に関する事業	19	1,916,800
(2)産業および交流に関する事業	23	11,419,300
(3)環境、基盤および定住に関する事業	31	619,800
(4)保健、福祉および医療に関する事業	105	11,146,800
(5)教育および文化に関する事業	68	31,286,324
(6)重点戦略プロジェクトに関する事業	15	337,800
(7)財政健全化への取り組みに関する事業	16	2,330,800
(8)災害復旧に関する事業	32	2,643,298
(9)光ファイバーの整備	4	120,000
(10)指定事業なし	219	28,759,718
合計	532	90,580,640
(うち平成26年度の寄附金額)	(101)	(26,762,000)